

# I 調査の概要

## 1. 設置主体

「国」263病院(8.7%)、「自治体」654病院(21.6%)、「公的(日赤・済生会など)」203病院(6.7%)、「社会保険関係団体」105病院(3.5%)、「医療法人・個人」1,399病院(46.2%)、「学校法人・その他の法人」383病院(12.7%)などである《統計表第1表》。「医療法人・個人」病院の構成比は前回調査(40.5%)と比べ5.7ポイント多くなっている。

## 2. 病床規模

病床規模は、「20～49床」154病院(5.1%)、「50～99床」506病院(16.7%)、「100～199床」917病院(30.3%)、「200～299床」517病院(17.1%)、「300～499床」586病院(19.4%)、「500～899床」284病院(9.4%)、「900床以上」62病院(2.0%)で、200床未満の病院が半数以上をしめる《統計表第4表》。

## 3. 病院種類

病院を特性により分類(調査概要参照)した結果、「一般病院」1,336病院(44.2%)、「総合病院」838病院(27.7%)、「特定機能病院」68病院(2.2%)、「精神病床を主とする病院」208病院(6.9%)、「老人病床を主とする病院」178病院(5.9%)、「その他の病院」392病院(13.0%)だった《統計表第3表》。

## 4. 看護料等の算定状況

1994(平成6)年10月の診療報酬改定により看護料については従来の「基準看護」に加えて「新看護」体系が新設された。

調査時点は改定から1年を経過しており、「基準看護」から「新看護」への移行が進んでいる。

### (1) 一般病床

一般病床を持つ病院は2,635で、「新看護」を算定している比率は74.2%《統計表第9表》である。「新看護」の算定状況は、「2対1」23.8

表1 算定している新看護料種別(一般病床)

	回答病院数	2対1	2.5対1	3対1	3.5対1	4対1	無回答
一般病院	932	12.9	20.7	50.0	7.7	8.0	0.6
総合病院	669	43.5	42.9	11.1	0.9	1.0	0.6
特定機能病院	64	42.2	54.7	—	—	—	3.1
精神病床を主とする病院	22	—	—	68.2	9.1	18.2	4.5
老人病床を主とする病院	11	—	9.1	81.8	—	9.1	—
その他の病院	258	10.5	10.9	55.4	12.0	10.1	1.2

%, 「2.5対1」27.8%, 「3対1」36.1%, 「3.5対1」5.7%, 「4対1」5.8%である《統計表第10表》。表1は病院種類別の「新看護」料算定状況である。「総合病院」「特定機能病院」ではほとんどが「2.5対1」以上を算定しているが、「一般病院」「その他の病院」では「3対1」が約半数を占めている。「精神病床を主とする病院」「老人病床を主とする病院」で併設する一般病床では、ほとんどが「3対1」を算定している。

## (2) 精神病床

精神病床を持つ病院は477である。

精神病床では「新看護」を算定する病院は57.7%で、38.5%が「基準看護」にとどまっておき、一般病床と比べて「新看護」への移行が遅れている《統計表第13表》。

特定入院料である「精神療養病棟入院料(A・B)」は30病院、「老人性痴呆疾患治療病棟入院料」は11病院、「老人性痴呆疾患療養病棟入院料」は7病院が、それぞれ算定している。

## (3) 療養型病床群

療養型病床群を持つ124病院のうち、18病院(14.5%)が「療養Ⅰ群入院医療管理料」、80病院(64.5%)が「療養Ⅱ群入院医療管理料」を算定している《統計表第17表》。

## (4) 老人病床

老人病床を持つ329病院のうち、267病院

(81.2%)が「老人病床入院医療管理料」を算定している。126病院が「老人病床入院医療管理料Ⅰ」、104病院が「(同)Ⅱ」と、看護要員配置の厚いランクをとっている《統計表第18表》。

## (5) その他の病床

「結核病床」を持つ病院は303病院、「伝染病棟」を持つ病院は206病院、「緩和ケア病棟」があると回答した病院は17、「特殊疾患療養病棟入院料」を算定する病棟を持つ病院は28である《統計表第5表》。

## 5. 患 者

調査当日の入院患者総数は、631,231人(回答病院数3,013)である。また、調査前1週間の延べ外来患者数は6,995,455人(回答病院数2,909)である。

入院患者のうち、調査当日家族が付添っていた患者が「いた」と回答した病院は1,614病院(53.3%)、職業付添い婦が付添っていた患者が「いた」病院は162病院(5.6%)である《統計表第36表》。家族が付添っていた患者がいた病院全体では、入院患者全数に対して家族付添いがついていた患者の比率は4.9%だった。家族付添いがついていた患者の年齢構成は、「5歳以下」31.6%、「6～64歳」24.0%、「65歳以上」43.8%、「不明」0.6%だった。